

意見文：マッチングアプリ

恋活・婚活をしている人なら誰でも知っているマッチングアプリですが、このようなアプリに賛成すべきか、反対すべきか、ここで論じたいと思います。

まずマッチングアプリの一番重要なメリットですが、アプリで色々な人と簡単に知り合うことができます。「相手は本当に遊び半分でマッチングアプリを使っていないのか」や、「この人が危険ではないという保証はどこにもない」など、マッチングアプリに対する疑問は多くあります。しかし、couples.jp^[1]によると、マッチングアプリは出会い系アプリと違って、本人確認や料金制があります。つまり、真剣に恋・結婚がしたい人の方が大勢いて、危険性は比較的に低いそうです。それから、マッチングアプリを使えば、距離という制限を外すことができます。このおかげで、人口の少ない町に住んでいる人も相手探しができますし、自分の理想の人が他の町にいても、接点を持てます。このように、簡単に多くの人と連絡ができるからこそ、婚活パーティーなどに比べて、時間とお金が節約できて、経済的に余裕がない人や忙しい人にとっては便利です。

次に二つ目の点ですが、ファーストコンタクトは対面ではなくて、メッセージで行います。couples.jpの調査^[2]によると、マッチングアプリでは、人見知りの人でも、ゆっくり自分のペースで相手とお話ができるようです。そして何より、顔や体から始まる恋ではないので、もっと相手の性格や人格を重視し、外見という儚いものにこだわらず、本当に不変なものを見つけられることができると思います。相手の性格が合わなければ、最悪の場合、アプリにブロックという機能もついていますし、運営者の方々に通報もできます。友達からの紹介や職場の人と違って、長い関係を築く必要はないので、ブロックするのに躊躇うことはありません。逆に、気が合いすぎる人もいて、最終的には、恋人より親友になる^[2]かもしれませんが、それも悪くないと思います。

最後に三つ目の点ですが、相手の交際状況と性的指向がマッチングアプリでは、はっきり分かることについてです。つまり、好きな人や交際している人がいる人、もうすでに結婚している人、もしくは性的指向が合っていない人に会うリスクが比較的に少ないということです。そんな人に告白しても、最後に気まずくなるだけだと思います。これは実際にあった話ですが、幼馴染の異性の友達に告白されて、断る際、自分は異性に興味がないと伝えると、疎遠になりました。このように、「交際している方がいます」という返事だけではなく、「自分がジェンダーマイノリティー」と簡単に自覚し、口にすることができるようになった今、気まずい感じを避けるにはマッチングアプリはとても重要だと思います。

以上のことから、マッチングアプリに賛成します。マッチングアプリはお見合いや合コンの進化版であって、一番最初の目的は騙し討ちではなくて、恋・結婚がしたい人に機会を提供する場であることを忘れてはなりません。

[1] <https://couples.jp/media/dating-application/>

[2] <https://couples.jp/media/dating-application/whatisamatchingapp/>